



市小だより

第6号 改訂版

令和2年10月9日

長久手市立市が洞小学校

元気に登校！笑顔で下校！

朝夕涼しくなり、虫の鳴き声に秋の深まりを感じる季節となりました。5年生の野外活動は、大きなけがや病気などなく、楽しい思い出ができたようです。野外活動に向けてご家庭のご理解・ご協力ありがとうございました。今回は、14日(水)15日(木)に6年生が京都・奈良へ修学旅行に行きます。小学校生活で最高の思い出ができることと思います。

前期児童会を振り返って

まもなく、前期児童会活動が終わりを迎えます。そこで、コロナウイルス禍の中活躍した前期の児童会役員に、児童会活動を振り返ってもらいました。



会長 大島 峻

ぼくは、児童会長となってたくさんのことを学びました。一番心に残ったのは、企画を考えるときです。一人の意見だけでなく、7人が考えた意見の良いところを合わせて考えることで、全員が納得して企画がスムーズに通るようになりました。市小のみんなが進んで取り組む企画は難しかったけれど、あいさつをしてくれる人が増えたのでうれしかったです。一生の思い出になりました。半年間ありがとうございました。

副会長 加知 巧海

5年後期、6年前期と児童会役員をやってきて市が洞小の特徴をよく知ることができました。ふだんのあいさつ運動では、なかなか返事が返ってこない日もあったけど、企画を行うことであいさつをしてくれる人が増えてよかったです。これからももっともっと元気なあいさつをできる人が増えてほしいです。



副会長 佐藤 優姫

初めて副会長になっていろいろなことを経験し、学びました。同じ児童会の仲間と市が洞小学校がより良くなる企画を通して、市が洞小学校を引っ張っていかたと感じています。また、朝、旗を上げたり指令台で話したり、初めはすごく緊張して、分からないこともたくさんありました。けれど、だんだんやっていくうちに慣れてきて、とても楽しくなりました。この半年間は、私にとって何よりの宝物です。ありがとうございました。

総務 今井 翔太

児童会役員をやってとてもいい経験になりました。児童の代表として、7人で協力し合い、団結してこの市が洞小学校をよりよくできたと思いました。実際にあいさつの企画を通して、あいさつを返されたときの、あのうれしい気持ちは忘れられません。この経験を生かして、次の児童会には優しい、人の役に立てるような明るい未来をつくってほしいです。



総務 伊東 真惟

短い期間でしたが、児童会役員をすることができてとてもよかったと思っています。初めは不安ばかりでしたが、仲間と協力して活動すると、とても楽しくてやりがいを感じました。児童会の活動に関わってくれた全ての人に感謝したいです。また、今の明るくて楽しい学校がこれからも続いてほしいと思います。

総務 濱 新汰

児童会活動を通して勇気が増えました。今までは知らない人にあいさつができませんでした。あいさつをすると、たくさんの人としゃべれるので、児童会役員になれてよかったなと思いました。児童会は自然に人との交流が増え、普段の日常とは少し変わった生活が送れて、とても楽しかったです。



総務 関根 優来々

今年初めて、児童会をやって心に残ったことは、あいさつ運動です。日頃からあいさつは少ないと思っていたので、わたしたちの活動であいさつが増えたと思うとうれしいです。私は、児童会役員をやってよかったと思います。自ら友達や先生にあいさつができるようになり、あいさつすることが身につきました。これからも、友達や先生にあいさつを忘れずにしようと思いました。



児童会役員の皆さん、いろいろありがとう！